

わがまちトピックス

みんなで楽しめる、地域まなびの場

子どもの居場所「ひみつきち」に集まろう!

子どもが安心して通える集いの場として、楽しい学びや遊びの時間を提供しています。大人も楽しめますので、親子でご参加ください。

- 日時 毎週金曜日 午後4時～6時
- 会場 高浜町ライフサポートステーション内
- 内容 「落語でおしゃべり教室」、「宇宙のひみつにチャレンジ」など毎週テーマが変わります。
※特別企画「天体観望会」4月19日(金)午後6時30分～8時
- 申し込み 当日、直接会場へ



問い合わせ 社会福祉法人山の子会 ☎31-2324

4月からアップグレード

芦屋病院 新しいMRI装置が稼働



【新しいMRI装置の特徴】

より高画質な画像(フルデジタルコイル搭載)、特殊モニターの映像や音楽でリラックスしながら検査でき、今までMRI検査ができなかった患者さんも心的負担を軽減して検査できます。

※検査を希望する人は、当院またはかかりつけの医師にご相談ください。

問い合わせ 芦屋病院放射線科 ☎31-2156

ルナ・ホールで日ごろの成果を発表しませんか

演芸フェスティバル参加者募集

- 内容 7月6日(土)、ルナ・ホールで開催する「高齢者のつどい(演芸フェスティバル)」に出演するコーラス・舞踊・演芸・演奏等の団体を募集します。(発表時間10分程度)
- 対象 市内で活動している10人以上の高齢者の団体・2団体
- 申し込み 応募用紙に記入し、4月26日(金)までに下記へ提出
※応募用紙は下記窓口に設置。応募多数の場合は、選考の上決定。



問い合わせ 高齢介護課高齢福祉係 ☎38-2044

市民の皆さんの協力で作った平和記録集

「語り継ごう平和への思い」発行

被爆体験談や市内での戦争体験談などを掲載した平和記録集を、3月に発行しました。昨年開催したヒロシマ原爆展展示資料の写真と解説・小学生の平和ポスター展受賞作品も掲載しています。ぜひご覧ください。

人権推進課でお渡ししています。



記録集に掲載された朝日ヶ丘小学校 稲留くん

問い合わせ 人権推進課 ☎38-2055

心温まるストーリー

いきいきシネマサロン『しゃぼん玉』

犯罪を繰り返していた若者が、逃亡中の山奥で老婆を助けたことをきっかけに、自分の罪を自覚し始める。

- 日時 5月18日(土)午前10時10分～/午後1時～/午後3時30分～【上映時間1時間48分】
- 会場 ルナ・ホール
- 定員 各回650人
- 出演 市原悦子・林遣都・藤井美菜・相島一之ほか
- 費用 中学生以上1,000円(小学生500円)
- 申し込み 当日、直接会場へ

※広報掲載記事持参で中学生以上200円引き。未就学児の入場はご遠慮ください。



(C)2016「しゃぼん玉」製作委員会

問い合わせ 市民センター「ルナ・ホール事業」担当 ☎35-0700

今から130年前(明治22年「1889」)

精道村の発足から130周年

住宅都市・芦屋の礎が築かれた時代

平成31年4月1日は、芦屋市の前身である精道村が発足してから、ちょうど130周年にあたります。

町村制が施行された明治22年(1889)4月1日、江戸時代から続く芦屋村・打出村・三条村・津知村の四力村が合併して「精道村」が誕生しました。この「精道」の村名は精道小学校の校名に由来し、明治19年(1886)の開校に際して西宮の漢学者の豊田政苗が「養精修道」の語から撰じたといわれています。では、なぜ、村名に小学校の名が付けられたのでしょうか。その理由は、合併により新しく誕生する村の名前を決めるにあたって、芦屋村と打出村が自村の名の採用を主張し、譲らなかったため、小学校の校名を採用したからです。

このようにして発足した精道村ですが、その後、芦屋市制が施行されるまでの1889～1940年の内、その後半は芦屋市域が農村から大阪・神戸の郊外住宅地へと劇的に生まれ変わる時期で、まさに「阪神間モダニズム」文化が開花した時代にあたります。

精道村が郊外住宅地として目覚ましい発展を遂げた理由として、鉄道の発達を挙げることができ、市域で最初の駅は明治38年(1905)に阪神電鉄の開通に伴い開設した阪神芦屋駅

と打出駅で、その後、国鉄芦屋駅(大正2年)、阪急芦屋川駅(大正9年)と開設が続きます。

さらに、地元の有力者達による耕地整理事業(大正6年～昭和14年)や株式会社六麓荘等の民間会社による住宅地開発によって、精道村が住宅地として整備されていきます。

こうして、大阪や神戸への通勤圏となり、住宅地が形成された精道村には、公害に悩まされていた大阪の実業家らが移り住み、郊外住宅地として大いに発展しました。

教育委員会では、今年度に「精道村発足130周年記念事業」を実施します。事業では、戦前の芦屋の写真や情報等を市民のみならずから募り、収集した情報をインターネット等で広く発信します。さらに、関連パンフレットの刊行・配布や市内のまち歩きイベントの開催等を予定しています。



大正時代末頃の阪神芦屋駅周辺の様子

芦屋タイムトラベル 問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2115